

# 全国学力・学習状況調査の結果について

大石小学校

子供たちの学力を把握する目的で毎年実施されている全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。

福井県は今年度も全国トップクラスの学力を維持していることはご承知のことと思います。この調査は学力の一部、学校における教育活動の一側面からのもので、子供たちを全体的に見ることができるものではありませんが、今後の「大石っ子」の生きる力を育むために、どうするとよいのかを考える機会にすることができます。今年度の大石小学校の子供たちの学びの様子はどうだったのかをお知らせします。

## 平均正答率で見た大石小学校と全国・県との比較

大石小学校		比較
国語A	全国	◎
	福井県	○
国語B	全国	□
	福井県	△
算数A	全国	□
	福井県	△
算数B	全国	□
	福井県	×
理科	全国	○
	福井県	△

全国や県と比較し、本校の正答率が、

◎…高い ( $3\% \leq \text{◎}$ )

○…少し高い ( $1\% \leq \text{○} < 3\%$ )

□…ほぼ同じ ( $-1\% < \text{□} < 1\%$ )

△…少し低い ( $-3\% < \text{△} \leq -1\%$ )

×…低い ( $\leq -3\%$ )

### 【調査の内容】

A…知識に関する内容

B…活用に関する内容

### 教科別に見る大石っ子の様子

○優れている点等

△不十分な点等

### 国語

○漢字の読み書きに関しては、しっかり定着している児童が多いです。

日頃から漢字学習に対する家庭学習、はなまるテストで頑張っていることが効果をあげています。

○慣用句の意味や使い方を正しく理解しています。日常生活でも使えるようになると定着していきます。

△目的や意図に応じ文章全体の構成や効果を考えたり、引用して書いたりすることが苦手です。書く活動を取り入れて文章構成や効果などを指導していきます。

△書くための条件だけに集中して問題の意図をとらえていなかったり、複数の情報を選んで文章にする時に1つしか入れられないなどの複数の情報の取り扱いが苦手です。複数の情報を使ってまとめる活動を継続的に指導していきます。

△「話すこと・聞くこと」が苦手です。相手のことを考えて、思いを聞き取ったり、分かりやすく伝えたりすることを指導していきます。

### 算数

○基本的な計算の技能は高く、日頃からの学習が定着しつつあることが分かります。

○図形についての基礎的な知識については、定着しつつあることが分かります。

△「数量関係」において、示された考えを解釈し、他の場合において考えることが苦手です。文章から必要な情報を読み取り、条件に合うように式を立てたり、答えを求めたりする活動を指導していきます。

△日常生活の事象について割合を活用して考えたり、考えた理由を説明したりする力が不足しているようで

す。授業中に説明し合う時間を多く設け、筋道が通っている説明になっているか、確認していきます。  
△四則の混合した計算や商を分数で表すこと、□を使った式で問題場面を除法の式に表すこと等が苦手です。  
これまで学習したことで忘れてしまっていることもあるので、復習をしていく予定です。

### 生活習慣や学習習慣における大石っ子の様子

- 朝食を毎日食べる児童の割合は、ほぼ全国平均と同じですが、県平均を下回っています。毎日同じぐらいの時間に寝たり起きたりしている児童の割合は県平均を上回っています。
- 自分の考えや意見を発表することが得意な児童の割合は、ほぼ県平均と同じで、反対に友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童の割合は、県平均を若干上回っています。  
ただし、学級会などの話合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして、話し合い、意見をまとめているという児童は34%で、県平均の56.8%を下回っています。
- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たり3時間以上勉強している児童（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）の割合は8.6%で、県平均（6.9%）を上回っています。30分以上1時間未満という児童の割合が一番多く43%と県平均（42%）を若干上回っています。
- 普段の読書時間の割合も、1日当たり2時間以上読書している割合は6.9%で、県平均（5.9%）を上回っています。30分以上1時間より少ない児童の割合が34.5%と一番多いです。全くしない児童の割合は10%と県平均（17.4%）を下回っています。
- 家で学校の宿題をしている児童がほとんどですが、授業の予習や復習をしている児童も多いようです。
- 新聞をほぼ毎日読んでいる児童の割合は13.8%で県平均（9.5%）を上回っていますが、週に1～3回程度読んでいる児童の割合は10%と県平均（17.2%）を下回っています。テレビのニュース番組、インターネットのニュースを見ている児童の割合は69%と県平均（57.8%）を上回っています。
- 地域の行事に参加している児童の割合は、県平均を上回っています。
- 「自分には、よいところがある」に当てはまると答えた児童の割合は27.6%と県平均（47.5%）を下回っており、どちらかと言えば当てはまらないと答えた児童は22.4%（県平均9.5%）、当てはまらないと答えた児童は8.6%（県平均3.5%）と県平均を上回っています。